


# 主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開の工夫


パターン	Aパターン 【内容活用型】	Bパターン 【方法検討型】	Cパターン 【課題解決見通し型】
学習の 流れ	<p>① <b>学習内容を教えみんなで確認</b> (本当にそうなるかな?)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>結果を先に示し、なぜそうなるのかを問いかけることにより、児童の関心意欲を喚起し、主体的な学びにつなげる。</b></p> </div> <p>② 自力思考から「学びあい」 ③ まとめ ④ 自分でやってみる (練習問題)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>確認した方法で問題を解き、定着をはかる。</b></p> </div> <p>⑤ 振り返り</p>	<p>① 問題提示の工夫 (出合わせ方) ② <b>解法を複数提示</b> (子どもから出させる) ③ 選択の基準を明らかにして、<b>自己決定</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>問題解決をする前に、どのような解き方が考えられるか児童に複数発表させ、自分でやってみたい方法で解いてみる。</b></p> </div> <p>④ 自力思考から「学びあい」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>同じ解法グループで交流する。</b></p> </div> <p>⑤ まとめ ⑥ 再度、自己決定で変容確認 ⑦ 自分でやってみる (練習問題)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>自分でやりたい方法を選び解くことにより、主体的な学びにつなげる。</b></p> </div> <p>⑧ 振り返り</p>	<p>① 問題提示の工夫 (出合わせ方) ② 見通しを持つ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>問題把握から見通しの時間を大事にすることで、主体的な学びにつなげる。</b></p> </div> <p>③ 自力思考から「学びあい」 ④ まとめ ⑤ 練習問題で習熟</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>問題解決で分かったことが、他の場合でもできるかどうか確かめることで、主体的な学びにつなげる。</b></p> </div> <p>⑥ 振り返り</p>
	実践例	<p>○6年「円の面積」 円の面積の公式を確かめる。</p>	<p>○5年「合同な図形」 四角形の内角の和を求める。</p>

Aパターン  
内容活用型

円の面積はどうしたら求められるだろう？

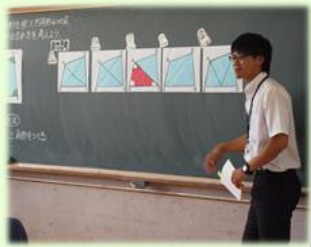
「半径×半径×3.14」  
で求められます。





本当にそうかな・・・？  
たしかめてみよう！

Bパターン  
方法検討型



四角形の4つの角の和の求め方は、いろいろありますね。

**どの方法でやってみたいですか？ (自己決定)**

- ・どうしてその方法を選んだの？
- ・気付いたことはありますか？

